

NetLibrary 和書プロジェクトの近況と今後の展開

1. NetLibrary の概要、ユーザー数

NetLibrary は世界最大手の図書館向け電子書籍プロバイダーであり、Springer、Elsevier、Oxford U. P.、Cambridge U. P.、Blackwell-Wiley、Taylor & Francis (Routledge, CRC Press etc.) など、欧米の主要出版社約 550 社が参加しています。文系・理系を問わず多岐に渡る分野の主に学術・教養系電子書籍 23 万タイトルを提供しており、世界 50 カ国 17,500 図書館で利用されています。

紀伊國屋書店では、NetLibrary システムが多言語対応になることを契機として和書搭載を始め、2007 年 11 月により和書電子書籍の提供を開始しました。2010 年 5 月現在、国内 172、国外 9 の図書館が NetLibrary 和書電子書籍を導入しており、大学を中心とする図書館向け電子書籍の標準として順調に市場に定着しつつあります。

最新の和書搭載タイトル詳細は以下より入手できます。

http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/netlibrary/contents/nl_washo_list.xls

2. NetLibrary の特徴、機能、購入方式など

NetLibrary では、質の高いコンテンツを提供したい出版社と利用したい図書館をそれぞれの立場からサポートするバランスモデルを採用しています。

特定のデバイスに頼ることなく、すべてのサービスを、インターネットを通して提供しています。導入する図書館側で、コンテンツサーバーなどハードウェアを確保する必要はありません。

機能面の特長として、一つの書籍内全文横断検索のみならず、書籍間の全文検索機能を実現しています。従来の紙媒体ではできなかった強力な検索機能の提供により、必要な情報を素早く見つけることができます。個人向け電子書籍にはない機能です。

印刷、またはダウンロードについては、冊子体書籍に準じる形で、著作権で認められた個人利用の範囲内で認められています。2010 年 6 月に印刷制限が改善され、現在は 1 コンテンツごとに 1 時間につき 60 頁までが一度に印刷、ダウンロードできるようになりました。

紀伊國屋書店では、標準付帯サービスとして、NACSIS 準拠形式の MARC レコードを無償提供しています。MARC レコードを自館システムに取り込み、OPAC から紙媒体、電子媒体を問わず網羅的に蔵書を利用者へ提供することができます。リゾルバーのリンクターゲットに設定することも可能です。

購入にあたっては、買切りサービスのため、年間維持費などは不要です。タイトル単位での購入となり、通常の紙書籍と同様、選書は自由です。サイトの制約がないので、複数のキャンパス間において追加料金なしで購入した電子書籍が共有できます。また初回購入時に著作権フリーの洋書タイトル 3,457 点が無償で提供されます。

3. 電子書籍の利用促進、利用の実態

電子書籍を導入した図書館においては、有効活用のために様々な利用促進を図ることが必要であり、エンドユーザー、図書館、コンテンツ提供側で「正の循環」を形成していくことが、電子書籍の普及を一過性のものにならないための重要な活動と考えています。紀伊國屋書店のホームページでも、導入図書館にご了解いただき、「NetLibrary eBook 有効活用のために」と題し、有効活用事例を紹介していますので、ぜひご参照ください。

http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/netlibrary/netlibrary_ebook.htm

事例 1 OPAC との連携(上智大学図書館様の例)

事例 2 図書館ガイダンスでの利用(神奈川工科大学図書館様の例)

事例 3 「パスファインダー」との連携(千葉大学図書館様の例)

事例 4 図書館ウェブサイトでの広報(鳥取大学図書館様の例)

電子書籍を導入していても、OPAC への書誌データ搭載がまだ済んでいない図書館は、まず OPAC へのデータ搭載をご検討ください。OPAC へ搭載することにより、6 倍程度の利用増になるとの報告もあり、まずは OPAC への搭載をお勧めします。紀伊國屋書店では、各種図書館システムに合せて NACSIS 準拠形式の MARCレコードを無償提供しています。また、NACSIS 目録データベースへの電子書籍登録基準が 2010 年から試行段階に入り、NetLibrary 和書データが、NACSIS 電子和図書書誌レコードの事前登録対象に選ばれました。2010 年 7 月 20 日から入力作業に入る予定です。今後は、通常の冊子体と書と同様の形で MARC レコードの取込みが可能となります。

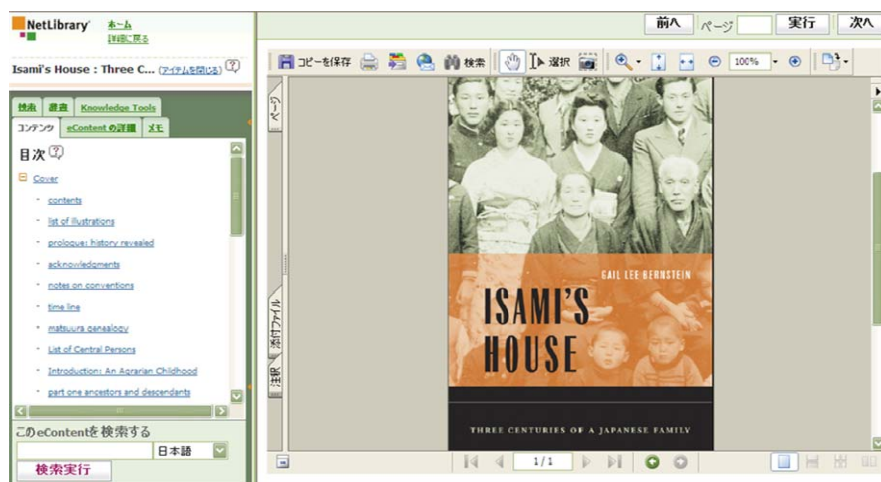
(OPAC 取込画面例－上智大学図書館様の例)

The screenshot shows the OPAC search results page. The search criteria are: 図書 (Books), 雑誌 (Magazines), タイトル・ワード (Title/Word). The results list two items:

No.	区分	タイトル／著者等
1	図書	Isami's house : three centuries of a Japanese family / Gail Lee Bernstein. ; cloth. ; pbk. -- University of California Press, 2005. -- (A Philip E. Lilienthal book)
2	図書	Isami's house : three centuries of a Japanese family // Gail Lee Bernstein. -- University of California Press, 2005. w [electronic resource]

Below the table, a text box explains: "Isami's house : Three centuries of a Japanese family" という同一のタイトルが2点ヒットします。1.は冊子体資料、2.はリンク横に[Electronic resource]とあるように、電子資料です。

The screenshot shows the book information page for the selected item. The title is: Isami's house : three centuries of a Japanese family. The URL is: <http://www.netlibrary.com/urlapi.asp?action=summary&v=1&bookid=142612>. A text box at the bottom explains: 一方、2.[electronic resource]版のリンクをクリックすると、「所蔵情報」はなく、「書誌情報」の中に URL: <http://www.netlibrary.com/urlapi.asp?action=summary&v=1&bookid=142612> というリンクが見られます。



eBookが開き、フルテキストの閲覧や書籍内でのキーワード検索等ができます。

NetLibrary 電子書籍利用の実態ですが、1人あたり1回の平均セッション時間は8分と報告されており、強力な検索機能を介してデータベースのように利用されていることがうかがえます。NetLibrary で必要な箇所を検索、利用しながら、通読の際は紙媒体を利用する事例が見られます。シラバスで参考書に挙げられたコンテンツは NetLibrary で頻繁に利用されますが、図書館蔵書の紙媒体を再利用も期待できると思われま

4. 最後に

図書館先進国である米国 Association of Research Libraries の報告書によると、図書館予算における電子書籍の占める割合が年々上昇しています。下表にある通り、1998年の5%、2002年の7%に比し、2008年時点での学術書籍市場は、全体の7億4,400万ドル中、電子書籍が18%を占めるに至っています。尚、この数字には雑誌は含まれていません(雑誌費における電子ジャーナルの占有率は2008年時点で59%)。日本の学術市場においても、今後同様の現象が起こるものと予測されます。

調査対象図書館数:米国の大学図書館 3,827

(出典:NCES National Center for Education Statistics 「Libraries」)

(単位:100万ドル)

	1998年		2002年		2006年		2008年	
書籍全体	542		608		666		744	
書籍(ペーパー)	514	95%	563	93%	572	86%	611	82%
書籍(電子)	28	5%	45	7%	94	14%	133	18%

NetLibrary に関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 OCLC センター(電話:03-6910-0516、ファクス:03-6420-1356、e-mail:oclc@kinokuniya.co.jp)までお願い致します。

*お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。